

かめやま教育通信

第25回



4月、新年度のスタートです！

入園・入学する子どもへの寄り添い方は？

4月のこの時期、入園・入学する子どもたちにとっては、新しいクラス、新しい友だち、新しい先生など、周りの環境が大きく変化します。今回は、この時期の子どもたちに、親として、家族として、身近にいる大人として、どのように寄り添っていくとよいのかを紹介します。

1 保育所・幼稚園・認定こども園に入園 ～自立への第1歩！～



これまで家庭で過ごしてきた子どもが、初めての集団生活を送ります。

楽しく登園できるかな、友だちと仲良くできるかな、トイレはちゃんとできるかなと、大人が心配するのと同じように、幼い子どもながらも期待と不安でいっぱいです。

ワンポイントアドバイス

安心して子どもを送り出すために、心配なことは一人で抱え込まず、園や家族、地域の子育て施設の方々等に相談してみましょう。子どもが園に慣れるまでは時間が必要かもしれませんが、子どもの声によく耳を傾け、焦らず力を信じて見守ってあげてください。



ワンポイントアドバイス

保育所等では、送り迎えや連絡帳のやりとりなど、先生に子どもの様子を聞ける機会が多くありました。しかし、小学生になると、学校での様子を親が直接見聞きする機会が減り、心配することもあると思います。

子どもは、初めての学校生活で頑張っている分、知らないうちにストレスを感じていることがあります。家では、子どもの話を聴く時間をとり、ゆったりと過ごせるようにしてあげてください。



2 小学校に入学 ～学校生活のはじまり！～

小学校に入学し、最初の学校生活がはじまります。園生活と比べて、子どもたちだけで登下校したり、またチャイムに合わせて行動したり、勉強したり、給食やそうじをしたりなど、自分で考えて行動することが増えてきます。



ワンポイントアドバイス

新たな環境への期待とともに、この時期の子どもは心と体が急激に成長するため、心と体の発達がアンバランスになり、不安を強く感じる場合があります。反抗期でもある子どもに対しては、親が意識的に少し距離を取りながら、子どもが自分で取り組むことができるように見守ってあげることが大切です。

それでも、もし子どもの変化に気付いたら、さりげなく声を掛けてあげてください。

3 中学校に入学 ～ひろがる学校生活！～

中学校へ入学すると、学習面では、学級担任制から教科担任制へ、単元別テストから定期テストへなどのさまざまな変化があります。また、生活面では、通学範囲が広くなり、交友関係も広がってきます。部活動も始まり、先輩後輩という関係も出てきます。

小学生のときと比べて自由な時間も減り、ストレスが溜まりやすくなります。



問合先 教育委員会学校教育課教育支援グループ (☎84-5076)